

2022年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年8月2日  
東

上場会社名 株式会社LITALICO 上場取引所  
 コード番号 7366 URL http://litalico.co.jp  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長谷川 敦弥  
 問合せ先責任者(役職名) 専務取締役 (氏名) 辻 高宏 (TEL) 03(5704)7355  
 四半期報告書提出予定日 2021年8月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第1四半期の連結業績(2021年4月1日~2021年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	4,639	—	397	—	327	—	114	—
2021年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2022年3月期第1四半期 114百万円( —%) 2021年3月期第1四半期 —百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	6.44	6.37
2021年3月期第1四半期	—	—

(注) 当社は、2021年4月1日の株式交換及び吸収分割、現物配当により新たに子会社が連結対象になったことに伴い、2022年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2021年3月期の実績はありません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第1四半期	10,774	4,675	42.7
2021年3月期	—	—	—

(参考) 自己資本 2022年3月期第1四半期 4,602百万円 2021年3月期 —百万円

(注) 当社は、2021年4月1日の株式交換及び吸収分割、現物配当により新たに子会社が連結対象になったことに伴い、2022年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2021年3月期の実績はありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2022年3月期	—	—	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2021年3月期までの配当金については、子会社である株式会社LITALICOパートナーズが、2021年3月期末に5円00銭の配当を実施しております。

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,000	—	2,500	—	2,200	—	1,200	—	67.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、2022年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率は記載していません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 2社(社名) 株式会社LITALICOパートナーズ、福祉ソフト株式会社
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
(注)詳細は、添付資料11ページ「四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無
- (注)詳細は、添付資料11ページ「四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期1Q	17,757,256株	2021年3月期	一株
② 期末自己株式数	2022年3月期1Q	235株	2021年3月期	一株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期1Q	17,747,603株	2021年3月期1Q	一株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(金額の表示単位の変更について)

当社の四半期連結財務諸表に表示される科目その他の事項の金額は、従来、千円単位で記載しておりましたが、当第1四半期連結会計期間及び当第1四半期連結累計期間より百万円単位で記載することに変更しました。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	6
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	9
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	10
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	11
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	11
(会計方針の変更)	11
(セグメント情報等)	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は、2021年4月1日付の株式交換により株式会社LITALICOパートナーズ（旧商号：株式会社LITALICO）の完全親会社となり連結いたしました。株式交換の前後でLITALICOグループにおける連結の範囲に実質的な変更はないため、前年同四半期と比較を行っている記載項目については、株式会社LITALICOパートナーズの2021年3月期第1四半期連結累計期間（2020年4月1日から2020年6月30日まで）と、また、前連結会計年度末と比較を行っている項目については、株式会社LITALICOパートナーズの2021年3月期連結会計年度末（2021年3月31日）と比較しております。

## (1) 経営成績に関する説明

(単位:百万円)

	2021年3月期 第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	2022年3月期 第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	増減額	増減率
売上高	3,720	4,639	919	24.7%
営業利益	250	397	147	58.7%
経常利益	208	327	118	57.0%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	110	114	3	2.9%

(単位:百万円)

セグメント別業績		2021年3月期 第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	2022年3月期 第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	増減額	増減率
LITALICO ワークス 事業	売上高	1,887	2,087	199	10.6%
	利益	704	829	125	17.9%
LITALICO ジュニア 事業	売上高	1,259	1,534	274	21.8%
	利益	138	192	53	39.0%
LITALICO プラットフォーム 事業	売上高	212	430	217	102.5%
	利益	△31	64	96	-
その他	売上高	359	586	227	63.1%
	利益	△69	△65	4	-

(注) 当第1四半期会計期間より、従来「LITALICOジュニア事業」に含まれていた「LITALICOジュニアパーソナルコース」を「その他」に区分する方法に変更しております。なお、前第1四半期累計期間のセグメント別業績については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

当社グループは「障害のない社会をつくる」というビジョンのもと、2005年の設立時より障害福祉領域において事業を展開してまいりました。現在全国230拠点以上で就労や学びを支援するサービスを提供しております。加えて、プログラミング等一般教育分野への展開も進めております。さらに、これらの施設運営で培ってきたノウハウを活用し、障害福祉領域におけるインターネットプラットフォームサービスを展開しております。自社運営の施設サービスとインターネットプラットフォーム事業を組み合わせることで、より高品質のサービスをより多くの方々へ提供し、ビジョンの実現を目指しております。

当社グループは個人向けサービスとしてLITALICOワークス、LITALICOジュニアスタンダードコース、LITALICOジュニアパーソナルコース、LITALICOワンダー、LITALICOライフの5サービスを、また施設や従事者向けのインターネットプラットフォームサービスとしてLITALICO発達ナビ、LITALICO仕事ナビ、LITALICOキャリアの3サービスを運営しております。

LITALICOワークスは、働くことに障害のある方への就労支援サービスで、PCスキルや履歴書添削など職業訓練や企業の人事担当者との調整等を行います。また、就職した方の職場定着をサポートするサービスも提供しています。1988年に1.6%で設定された法定雇用率は段階的に引き上げられ、2021年3月には2.3%となりました。また、2018年に障害者雇用義務の対象に精神障害者が加わる等、障害者雇用における社会的要請は年々強まっております。しかしながら、2020年における法定雇用率達成企業の割合は48.6%と半数を割り込んでおり、当社の就労支援サービスの拡大余地は引き続き大きいと考えられます。

LITALICOジュニアは、子ども一人ひとりの個性に合わせた学びを提供する幼児教室・学習教室で、言語発達における支援や机上課題、ソーシャルスキルトレーニングやペアレントトレーニング等を提供しています。少子化の中において、全国の小・中・高等学校における通常学級に在籍しながら必要に応じて別室等で授業を受ける「通級指導」の対象者は継続的に増加している等、発達障害に関する社会的認知の広がり等から一人ひとりの個性に合わせた教育機会を提供する当社サービスの必要性は高まっていると考えられます。

LITALICOジュニアスタンダードコースでは、児童発達支援施設の運営及び放課後等デイサービスのほか小学校や幼稚園等に訪問し直接的・間接的にサポートする保育所等訪問支援等のサービスを提供しております。

LITALICOジュニアパーソナルコースでは、特に短期集中型の手厚い指導に特化した教育プログラムを提供しております。

LITALICOワンダーは、テクノロジーを活かしたものづくりを通して、子どもの個性に合わせ、創造力を育む学びの場を提供するサービスで、プログラミングやロボット製作等を教室及びオンラインで提供しています。当社の持つ一人ひとりの個性に合わせるヒューマンサービスのノウハウを活かし、個々人に合わせたサービス提供ができることが特色です。プログラミング教育の必修化等があり、需要は拡大しています。

LITALICOライフは、自分らしい人生を歩んでいけるよう、一人ひとりちがう興味や課題に合わせた情報提供やライフプランの設計を支援するサービスです。これまでに多くのご家族の相談に応えてきた知見を活かし、お子さまの進路や就職、老後資金等の将来設計について等の情報提供を行っています。

LITALICO発達ナビは、発達が気になる子どもを育てるご家族が必要な情報を共有するプラットフォーム「LITALICO発達ナビ」を運営しています。さらに、子どもの育ちを支える発達支援施設向けに集客や運営・経営支援、人材育成等のサービスを、またオンラインで当事者家族向けに相談サービス「発達ナビPLUS」を提供しています。

LITALICO仕事ナビは、働くことに障害のある人が自分に合った仕事や就労支援サービスを探せる就職情報サイト「LITALICO仕事ナビ」を運営しています。また、障害のある方に対する就労支援施設向けの集客支援や障害者採用を行う企業への人材紹介等を行っています。

LITALICOキャリアは、障害福祉業界で働く人の転職サービス及び福祉施設の採用支援サービスを提供しています。福祉施設で働く従事者数は年々増加しており、福祉施設や従事者のマッチングサービスへの需要も今後高まることが予想されます。

以上に加え、障害福祉施設や介護施設向けに請求管理システムを提供する福祉ソフト株式会社を連結子会社としており、インターネットプラットフォームサービスにおけるSaaS領域の一層の充実を図っております。

当社グループは事業部を基礎としたサービス別にセグメントを構成しており、LITALICOワークスを「LITALICOワークス事業」セグメント、LITALICOジュニアスタンダードコースを「LITALICOジュニア事業」セグメント、LITALICO発達ナビ、LITALICO仕事ナビ、LITALICOキャリア及び福祉ソフト株式会社を「LITALICOプラットフォーム事業」セグメントとし、以上3事業を報告セグメントとしております。

セグメントごとの業績は以下の通りです。

#### <LITALICOワークス事業>

LITALICOワークス事業については、LITALICOワークスにおいて引き続き高水準で就職者数及び定着者数が推移していることから既存拠点の報酬単価が増加したことにより収益性が向上しております。また、当第1四半期連結累計期間で新規に開設した3拠点の集客も順調に推移しており、累計で95拠点となりました。当第1四半期連結累計期間の売上高は2,087百万円（前年同四半期比10.6%増）、セグメント利益は829百万円（前年同四半期比17.9%増）となりました。

#### <LITALICOジュニア事業>

LITALICOジュニア事業については、LITALICOジュニアスタンダードコースにおける既存拠点の利用率が引き続き高い水準で推移し、当第1四半期連結累計期間で新規に開設した7拠点の集客も順調に推移し、累計で103拠点となりました。また、既存拠点における訪問支援事業の拡大により、収益性が向上しております。当第1四半期連結累計期間の売上高は1,534百万円（前年同四半期比21.8%増）、セグメント利益は192百万円（前年同四半期比39.0%増）となりました。

#### <LITALICOプラットフォーム事業>

LITALICOプラットフォーム事業は、福祉ソフト株式会社の請求管理ソフトとのパッケージ販売を開始する等SaaS型プロダクトを中心に、順調に契約施設数の増加ペースを加速しつつ、人員の増強など積極的な先行投資を継続しております。また、LITALICOキャリアにおいても契約施設数及び採用支援サービスが拡大しております。当第1四半期連結累計期間の売上高は430百万円（前年同四半期比102.5%増）、セグメント利益は64百万円（前年同四半期比96百万円改善）となりました。

#### <その他>

LITALICOジュニアパーソナルコースにおいては出店を再開したこと等により、新規問い合わせ数が復調し順調に生徒数が拡大しております。当第1四半期連結累計期間の新規拠点開設数は1拠点で累計23拠点となりました。LITALICOワンダーについてはオンラインコースの拡充等を通じて新規問い合わせ数が順調に増加し、生徒数の増加ペースが加速しています。LITALICOライフについては、オンラインでの契約が可能になるなど規制緩和を受けて、全国を対象にセミナーを行い、サービス提供地域を拡大するなど引き続き投資を行っております。また、人員の増強など成長に向けた投資を進めています。当第1四半期連結累計期間の売上高は586百万円（前年同四半期比63.1%増）、セグメント利益は△65百万円（前年同四半期比4百万円改善）となりました。

以上の結果、売上高は4,639百万円（前年同四半期比24.7%増）、営業利益は397百万円（前年同四半期比58.7%増）となりました。

経常利益は、株式会社Olive Unionへの持分法投資損失を67百万円としていることから、327百万円（前年同四半期比57.0%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、組織再編の影響もあり114百万円（前年同四半期比2.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は10,774百万円となりました。税金の支払等により現金及び預金が210百万円減少したものの、業容拡大による売掛金の増加313百万円、拠点開発に伴う有形固定資産の増加36百万円により、前連結会計年度末と比較して319百万円増加しました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は6,098百万円となりました。税金の支払による未払法人税等が524百万円減少したものの、借入金の増加899百万円により、前連結会計年度末と比較して234百万円増加しました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比較して85百万円増加し、4,675百万円となりました。これは主に、親会社株式に帰属する当期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加114百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想及び配当方針につきましては、2021年5月10日に公表いたしました「連結業績・配当予想の決定及び期末配当の決定に関するお知らせ」から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)	
<b>資産の部</b>	
流動資産	
現金及び預金	1,028
売掛金	3,218
その他	397
貸倒引当金	△4
流動資産合計	4,638
固定資産	
有形固定資産	
建物附属設備(純額)	1,338
工具、器具及び備品(純額)	807
有形固定資産合計	2,146
無形固定資産	
のれん	1,011
ソフトウェア	701
その他	147
無形固定資産合計	1,860
投資その他の資産	
投資有価証券	1,034
敷金及び保証金	630
繰延税金資産	367
その他	96
投資その他の資産合計	2,128
固定資産合計	6,135
資産合計	10,774

(単位：百万円)

当第1四半期連結会計期間  
(2021年6月30日)

負債の部	
流動負債	
短期借入金	1,900
1年内返済予定の長期借入金	952
未払法人税等	213
賞与引当金	382
その他	782
流動負債合計	4,230
固定負債	
長期借入金	1,856
その他	11
固定負債合計	1,868
負債合計	6,098
純資産の部	
株主資本	
資本金	407
資本剰余金	741
利益剰余金	3,747
自己株式	△294
株主資本合計	4,602
新株予約権	72
純資産合計	4,675
負債純資産合計	10,774

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

	(単位：百万円)
	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
売上高	4,639
売上原価	2,916
売上総利益	1,722
販売費及び一般管理費	1,324
営業利益	397
営業外収益	
投資有価証券売却益	0
その他	1
営業外収益合計	1
営業外費用	
支払利息	3
持分法による投資損失	67
その他	0
営業外費用合計	72
経常利益	327
特別損失	
固定資産除却損	8
特別損失合計	8
税金等調整前四半期純利益	319
法人税、住民税及び事業税	204
法人税等合計	204
四半期純利益	114
親会社株主に帰属する四半期純利益	114

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)
四半期純利益	114
四半期包括利益	114
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	114

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社グループは、2021年4月1日に株式交換及び吸収分割、現物配当など一連のグループ内組織再編を実施しました。この結果、当第1四半期連結累計期間において、資本金が397百万円増加、資本剰余金が457百万円増加、利益剰余金が3,870百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末において資本金が407百万円、資本剰余金が741百万円、利益剰余金が3,747百万円となっています。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

2021年4月1日に行われた株式交換及び吸収分割、現物配当など一連のグループ内組織再編に伴い、株式会社LITALICOパートナーズ(旧商号:株式会社LITALICO)、株式会社LITALICOライフ、福祉ソフト株式会社を当第1四半期連結会計期間より当社の連結の範囲に含めており、株式会社Olive Unionを、当社の持分法適用関連会社としております。なお、株式会社LITALICOパートナーズ、福祉ソフト株式会社は当社の特定子会社に該当しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当連結会計年度税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取れると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

これにより、ライフプランニング事業のサービスの提供について、従来は一時時点で収益を認識しておりましたが、履行義務の識別及び充足時点について検討した結果、一部のサービス提供については一定期間にわたり収益を認識することとしております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。これによる、四半期連結累計期間等に係る四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

## 1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。当社グループは、本社にサービス別の事業部を置き、各事業部はサービスについて国内の包括的な戦略を立案

し、事業活動を展開しております。

従って、当社グループは事業部を基礎としたサービス別セグメントから構成されており、LITALICOワークスを「LITALICOワークス事業」、LITALICOジュニアスタンダードコースを「LITALICOジュニア事業」、LITALICO発達ナビ、LITALICO仕事ナビ、LITALICOキャリア及び福祉ソフト株式会社を「LITALICOプラットフォーム事業」とし、以上3事業を報告セグメントとしております。

## 2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	連結財務諸 表計上額
	LITALICO ワークス事 業	LITALICO ジュニア事 業	LITALICO プラットフ ォーム事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	2,087	1,534	430	4,052	586	4,639	—	4,639
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	20	20	345	366	△366	—
セグメント利益	829	192	64	1,086	△65	1,021	△623	397

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、LITALICOジュニアパーソナルコース、LITALICOワンダー、LITALICOライフの各サービスを含んでおります。

2. 調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 企業結合等関係

(グループ内組織再編成に関する事項)

LITALICOグループは、今後も継続的に、LITALICOワークス事業、LITALICOジュニア事業における障害福祉事業領域における出店を加速させることで安定的な成長を実現する一方で、福祉領域のプラットフォームとしての事業展開を一層推進し、一般教育領域への展開も併せて加速させたいと考えております。

そのため、当社設立以降の経営環境や社会情勢の変化、事業環境の状況等を総合して検討した結果、当社が運営するプラットフォーム事業とLITALICOグループ内の他の各サービスとの連携を図ることでLITALICOグループとしてのシナジーを最大化させるとともに、事業の高度化及び迅速化による事業規模のさらなる拡大を加速化させるために、最適なストラクチャーとすべく、プラットフォーム事業領域及び一般教育事業領域を当社事業とする再編成を行うことを決定いたしました。

下記の通り、株式交換の実施に加え、同一当事会社において行われる現物配当、簡易分割を行うことで、LITALICOワンダー事業及びLITALICOジュニア学習教室事業、LITALICOグループ経営管理及び子会社管理事業を、株式交換完全親会社である当社へ承継することを一連の再編の目的といたしました。

## 1. 株式交換の概要

## (1) 対象となった事業の名称及びその事業の内容

事業の名称 LITALICOグループ全体の経営管理

事業の内容 LITALICOグループ全体の経営管理及びそれに付帯する業務等

## (2) 企業結合日

2021年4月1日

## (3) 企業結合の法的形式

当社を株式交換完全親会社、株式会社LITALICOパートナーズを株式交換完全子会社とする、交換比率1:1のLITALICOグループ内部における株式交換

## (4) 結合後企業の名称

株式交換完全親会社：株式会社LITALICO(当社)

株式交換完全子会社：株式会社LITALICOパートナーズ(旧会社名 株式会社LITALICO)

## (5) 実施する会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成31年1月16日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成31年1月16日)に基づく、共通支配下の取引に準じた会計処理を実施いたしました。

## (6) 増加する資本金及び準備金に関する事項

増加する資本金の額 : 365百万円

増加する資本準備金の額 : 5,191百万円

増加する利益準備金の額 : 0円

## 2. 現物配当の概要

## (1) 配当財産の種類及び帳簿価額の総額

会社名 : 福祉ソフト株式会社

株数 : 106株

帳簿価額 : 1,042百万円

## (2) 株主に対する配当財産の割当に関する事項

現物配当の効力発生日時点において株式会社LITALICOパートナーズの発行済株式の全てを有する当社に対して、配当財産のすべてを割り当てる。

## (3) 剰余金の配当が効力を生じる日

2021年4月1日

## (4) 現物配当の日程

株式会社LITALICOパートナーズ 現物配当決議(会社法第319条) 2021年4月1日

株式会社LITALICOパートナーズ 現物配当効力発生日 同日

## (5) 実施する会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成31年1月16日）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 平成31年1月16日）に基づき、「共通支配下の取引等」として会計処理を実施いたしました。

### 3. 現物配当の概要

#### (1) 配当財産の種類及び帳簿価額の総額

会社名 : 株式会社Olive Union  
株数 : 138,491株  
帳簿価額 : 1,133百万円

#### (2) 株主に対する配当財産の割当に関する事項

現物配当の効力発生日時点において株式会社LITALICOパートナーズの発行済株式の全てを有する当社に対して、配当財産のすべてを割り当てる。

#### (3) 剰余金の配当が効力を生じる日

2021年4月1日

#### (4) 現物配当の日程

株式会社LITALICOパートナーズ	現物配当決議（会社法第319条）	2021年4月1日
株式会社LITALICOパートナーズ	現物配当効力発生日	同日

#### (5) 実施する会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」（改正企業会計基準第21号 平成31年1月16日）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（改正企業会計基準適用指針第10号 平成31年1月16日）に基づき、「共通支配下の取引等」として会計処理を実施いたしました。

### 4. 吸収分割の概要

#### (1) 対象となった事業の名称及びその事業の内容

LITALICOワンダー事業及びLITALICOジュニア学習教室事業、LITALICOグループ経営管理及び子会社管理事業の一部

#### (2) 結合日

2021年4月1日

#### (3) 結合の法的形式

当社を分割承継会社とし、2021年4月1日付で当社の連結子会社となる株式会社LITALICOパートナーズを分割会社とする無対価吸収分割

#### (4) 結合後企業の名称

本結合に伴う企業の名称に変更はありません。

#### (5) 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」（改正企業会計基準第21号 平成31年1月16日）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（改正企業会計基準適用指針第10号 平成31年1月16日）に基づき、「共通支配下の取引等」として会計処理を実施いたしました。